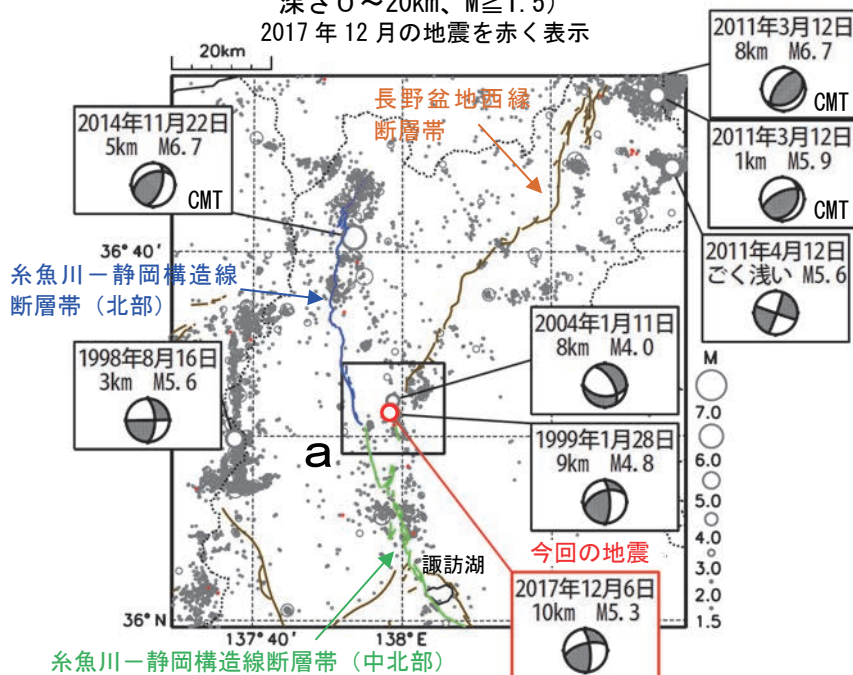


12 月 6 日 長野県中部の地震

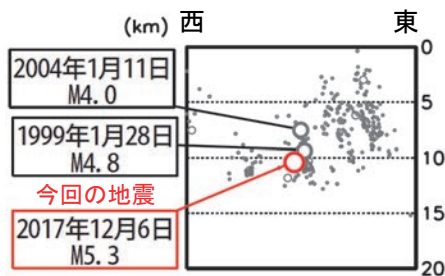
震央分布図

(1997 年 10 月 1 日～2017 年 12 月 31 日、
深さ 0～20km、 $M \geq 1.5$)
2017 年 12 月の地震を赤く表示



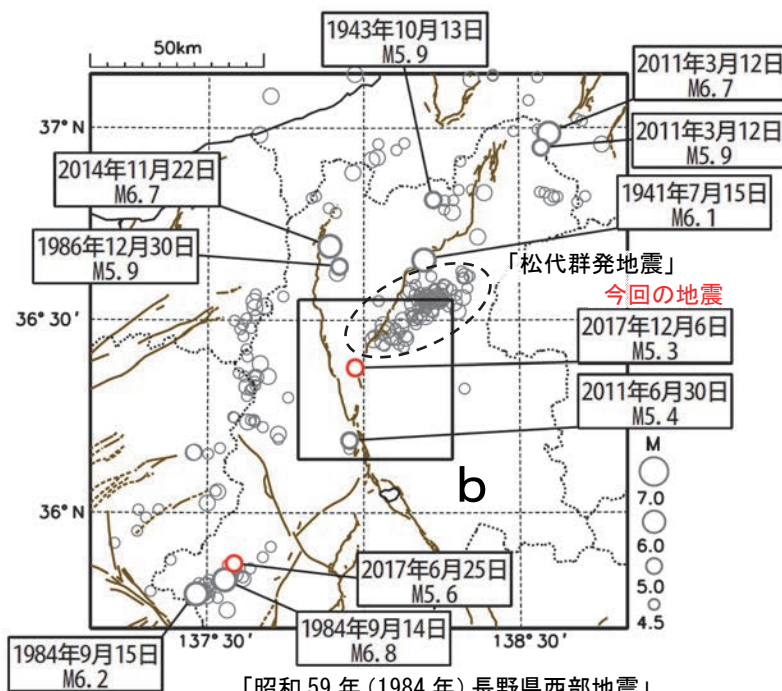
青、緑、茶色の線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す

領域 a 内の断面図（東西投影）



震央分布図

(1923 年 1 月 1 日～2017 年 12 月 31 日、
深さ 0～40km、 $M \geq 4.5$)
2017 年の地震を赤く表示



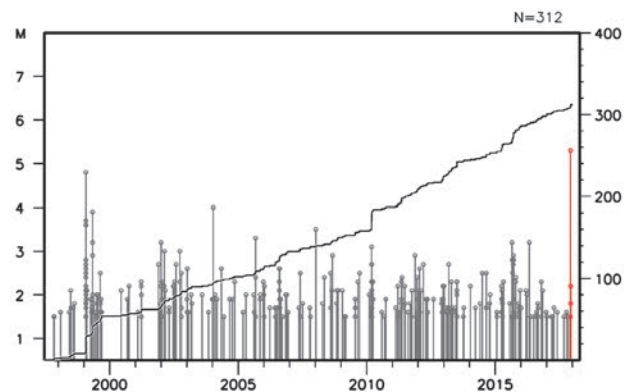
「昭和 59 年（1984 年）長野県西部地震」

2017 年 12 月 6 日 00 時 13 分に長野県中部の深さ 10km で M5.3 の地震（最大震度 4）が発生した。この地震は、地殻内で発生した。発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。

今回の地震は糸魚川-静岡構造線断層帯（中北部）の北端部付近に位置している。

1997 年 10 月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域 a）では、M3.0～4.0 程度の地震がしばしば発生しており、今回の地震の発生場所の近くで、1999 年 1 月 28 日に M4.8 の地震（最大震度 4、住家一部破損 3 棟などの被害（総務省消防庁による））、2004 年 1 月 11 日に M4.0 の地震（最大震度 4）が発生している。

領域 a 内の M-T 図及び回数積算図



1923 年 1 月以降の活動をみると、今回の地震の震央の周辺（領域 b）では、震央の北東側で「松代群発地震」が発生しているほか、M5.0 程度の地震が時々発生している。

領域 b 内の M-T 図

